

南の国の「ナデシコ」税理士

成功へのキセキ

第52回 私のミッション

カルロス・ゴーンさんが逮捕！
衝撃のニュースでした。テレビにテロップが流れたときは、見間違いかと思ったほどです。

日産自動車を経営不振のどん底からV字回復させたゴーンさんの手法は、税理士という仕事から、めちゃ興味がありました。当時は、バブルの頃からの不良債権をかかえ、銀行からの有利子負債を返済できずに、苦しんでいる中小企業がたくさんいたからです。

真夜中過ぎにかかってきた1本の電話。
「先生、お世話になりました。もう二度と会うことはないと思います。黙っていなくなるのは心苦しいので、先生にだけはお電話しました。」

いわゆる夜逃げです。
飲食店を経営していたその社長は、自らの経営も苦しいなか、友人の飲食店の保証人になっていたとのこと。同じ繁華街で店を構える者同士、融資の際には助け合って、お互いに保証人になっていたようです。

しかしどうやら、その友人のお店が借金の返済に行き詰まり、保証人であるクライアントのところに、取立てが回ってきたのです。そしてその中に、タチの良くない貸主がいたために、法的な破産手続きをしてもどうにもならない。逃げるしか方法がないんですと手短かに説明してくれました。

まだ税理士としてのキャリアも浅いころです。切羽詰まった真夜中の電話に、正確に何と答えたのかは覚えていません。困ったことがあったら、いつでも連絡してくださいね。私にできることはしますから、などと言ったように記憶しています。

「いや、先生に迷惑がかかるから、連絡先は教えられません。本当にお世話になりました」

今から25年ほど前の会話ですが、未だに忘れることができません。もちろん、彼が何処へ行ったのか、その後どうやって暮らしているのか、消息は不明のままです。

税理士になって初めての、ショッキングな出来事でしたが、その2年後にはさらに、衝撃的な依頼がありました。

知り合いの社長が自殺をしてしまった。借金がたくさんあるけれど、自宅も残っているの、売却など後の処理をお願いしたいというリクエストでした。預かった鍵で、マンションのドアを開けたときのノブの音は、今でも思い出すことができます。

3LDKの部屋は、整然と片付いていました。いえ、片付いているというより、何もありませんでした。食卓も、冷蔵庫も、電化製品も、食器棚も、洋服ダンスも、テーブルも椅子も、洋服類も、食器も、雑貨も、そしてチリーつも、ありませんでした。

部屋に残されていたのは、エアコン1基と大型テレビ。押入れの段ボールには、途中まで書かれた手書きの現金帳や売上帳など帳簿類と領収書類、おびただしい数の借入書でした。

覚悟を決めて、家具を処分し、部屋を掃除し、その後にはやって来る私のような専門家に伝わるように、書類をひとまとめにし…。

中でも、空っぽの部屋に1つだけぽつんと置かれた大型画面のテレビには、胸が痛くなりました。どんな気持ちで最後の夜を過ごしたのだろう。どんな気持ちで、テレビのスイッチを切り、部屋の鍵を締めたのだろう…。

亡くなった人の思いを叶えるため、4～5個の段ボール箱に無造作に押し込んであった書類をひっくり返して、たくさんあった借入先(そのほとんどは、高利の貸金業者でした)を特定し、弁護士に依頼して、返済不要の手続きを踏んでもらいました。そして自宅を売却し、遺言書に書かれたとおり、まとまった額のお金を若い遺児に渡すことができました。

これは、私の税理士としてのターニングポイントとなる出来事でした。

そうです。彼は死ななくてもすんだのです。どんなに借金があっても、店の経営がうまくいかなくても、生きていれば、何らかの方法でやり直す方法があったのです。

なぜ、その人がここまで負債をかかえてしまったのか、その経緯はわかりません。しかし、きれいに片付いた自宅から想像するに、真面目にコツコツと働いていたのではないかと思います。当時、金利の上限は29.2%の時代でした。真面目なその社長は、借金を返すために必死で働き、返済資金をつくるために、さらに別の貸金業者から新しく借入をおこし…とい

◆筆者 原 尚美 (はら なおみ) プロフィール

税理士。東京外国語大学卒業。TACの全日本答練(現:全国公開模試)「財務諸表論」「法人税法」で全国1位の成績を収め、税理士試験に合格。直後に出産。育児と両立させるため、1日3時間だけの会計事務所からスタートし、現在は全員女性のスタッフ約30名の規模にまで成長。一部上場企業の子会社やグローバル企業の日本子会社などをクライアントにもつ。ミャンマーに会計サービスの会社を設立し、海外進出支援にも力を入れている。著書に『小さな会社の総務・経理の仕事がわかる本』『小さな起業のファイナンス』(いずれもソーテック社)、『51の質問に答えるだけすぐできる「事業計画書」の作り方』(日本実業出版社)、『トコトわかる株式会社の作り方』(新星出版社)、『世界一ラクにできる確定申告(技術評論社)』『一生食っていくための土業の営業術(中経出版)』など。その他、「経理ウーマン」「デイの経営と運営」など雑誌への寄稿や、商工会議所、中小企業投資育成株式会社、日本政策金融公庫などでの、セミナー実績も多数。

う悪循環におちいったのではないかと思います。

自己破産という方法を知らなかったのか、知っていても死ぬより怖いことだと思っていたのか…。

この案件を契機に、私の税理士としてのミッションが決まったように思います。

「真面目に働いている人が、知らないというだけで損をしないよう、サポートしたい」

それからです。ゴーンさんは、どうやって日産自動車をV字回復させたのかなど、マーケティングに関する勉強をし、中小企業の経営相談にも積極的に乗れるよう努力しました。

本来の税金の専門家という枠組みとは違いますが、元も私たち税理士は、会社のお財布事情をつかんでいるし、顧問契約を交わしていただいているので、長期的なコンサルティングができるのが強みです。

経営コンサルタントと組んで、仕事をしたこともあります。けれど、彼らは短期的に結果をだすことを求められているせい、なけなしの資金を湯水のように使わせるなど、会社に結果責任を負わせる側面が気になって、提携を解消しました。

簡単に経営計画書がつくれて、経営指導ができる(会計事務所の収入源になる)というソフトもありました。しかし、とにかく値段が高いので、エクセルを使って、その会社にあった事業計画書の作成に力を入れるようになりました。手前ミソですが、そのノウハウをまとめた本が、『51の質問に答えるだけすぐできる「事業計画書」の作り方』(日本実業出版社)です。

事業計画書は、つくるのがゴールではありません。計画ど

おりに実現できなければ意味がない、という信念で書いた本です。MBAは持っていませんが、「中小企業の社長を守りたい」という思いから、独学で勉強し、実務の現場で積み上げたエッセンスが詰まっていると自負しています。おかげさまで、担当編集さんが社長賞を獲得したという嬉しいプレゼントもつきました。

ゴーンさんに関する報道が事実かどうかは分かりませんが、会社を私物化していたのなら、残念でたまりません。いま私のクライアントには、会社をよくしたい、事業を通じて社会に貢献したいという社長がたくさんいます。

「真面目に働いている人が報われるよう、バックヤードから支える」

ゴーンさんの逮捕は、そんな初心を忘れないようにという、メッセージのような気がしています。



今年も頑張ります。皆さまどうぞよろしくお祈りします。

好評につき 15刷!

51の質問に答えるだけですぐできる「事業計画書」の作り方

原 尚美 著(日本実業出版社) 1,600円+税

51の質問に順番にこたえるだけで、会計やマーケティングの知識がなくても、簡単に事業計画書ができる本。『ソイ・マヨ』という大豆マヨネーズの事業計画書をモデルに示して説明しているので、具体的な考え方や作り方のイメージがつかめます。これから起業しようという方、新規事業を始めたい方に大いに役立ちます。

51の質問に答えるだけですぐできる「事業計画書」の作り方

「51の質問に答えるだけですぐできる事業計画書」の作り方

原 尚美 著

各種フォーマットをダウンロードして使えます!